



# 慶應義塾大学ビジネス・スクール 公開講座のご案内

公開講座シリーズは、KBS 教授陣が最先端の経営学研究の成果を広く社会にお届けし、実際のビジネスシーンで役立てていただくことを目的として全7回にわたり開催予定です。各回の詳細情報は順次 HP にて掲載してまいります。皆様のご参加をお待ちしております。

お申込：開講日の約1か月前よりKBS ホームページ上（www.kbs.keio.ac.jp/openforum2014）にて申込受付を開始します。

いずれも参加費は無料です。

【お問い合わせ】 慶應義塾大学ビジネス・スクール イベント運営事務局 お問い合わせ時間 平日 9:00～17:00

〒223-8526 横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学協生館 5階委員長室

Tel: 045-564-2020 Fax: 045-562-3502 E-mail: event@kbs.keio.ac.jp

## 第1回

日程：5月21日（水）

19:00～21:00（開場 18:30）

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館  
2階 藤原洋記念ホール

定員：300名 [先着順]

## 不確実な環境、打破する戦略

製品や企業の優位性が、地球規模かつ短期間でドラスティックに入れ替わり、競争戦略の重要性が声高に叫ばれています。こうした中で、おかたの日本の企業が有効な競争戦略を立てて実行してきたとは、とても思えないのが現実の姿です。この講演では経営戦略策定に関わる考え方を改めて問い直し、皆様が日本企業復活のヒントを得ていただくことを目指します。



担当：磯辺 剛彦（慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授）

1981年慶應義塾大学経済学部卒業。1981年（株）井筒屋。1991年経営学修士（慶應義塾大学）、1996年博士（経営学）（慶應義塾大学）、1996年流通科学大学商学部助教授、1999年教授。2005年神戸大学経済経営研究所教授を経て2007年慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授。2008年（一財）企業経営研究所（スルガ銀行）所長。主要著書は、『起業と経済成長：Global Entrepreneurship Monitor 調査報告』（慶應義塾大学出版会、2011）など。

## 第2回

日程：6月20日（金）

19:00～21:00（開場 18:30）

会場：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

定員：200名 [先着順]

## Perfume, AKB, そして KPP ～ 新しい時代のファイナンス理論：KPP 理論

日本企業に足りないものは何か。世界において社会と経済の動きが加速化する中で、日本企業が成功しきれない理由とは何か。それは戦略の問題であり、マネジメントの問題であり、ガバナンスの問題であり、ファイナンスの問題です。日本企業がはじけきれない理由を、日本のポップアイドル：“Perfume”、“AKB48”、“きゃりーぱみゅぱみゅ”を題材として考えることにより、追究します。この講座を通して参加者とともに新しい経営理論を考案したいと思います。意欲ある受講者の参加を期待します。



担当：小幡 續（慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授）

1992年東京大学経済学部卒業、大蔵省（現財務省）入省、1999年退職。2000年 IMF、2001年～2003年一橋大学経済研究所専任講師。2001年 Ph.D.（経済学）（ハーバード大学）取得。主要著書は、『リフレはヤバイ』（ディスカヴァー・トゥエンティワン、2013）『成長戦略のまやかし』（PHP 研究所、2013）『ハイブリッド・バブルー日本経済を追い込む国債暴落シナリオ』（ダイヤモンド社、2013）『やわらかな雇用成長戦略』（角川書店、2013）など。

## 第3回

日程：7月15日（火）

19:30～21:30（開場 19:00）

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館  
5階 エグゼクティブセミナールーム

定員：50名 [抽選]

## 人材選抜・育成に関する新潮流 ～ 開発的アセスメント・センターをめぐって

本講演では、タレント・マネジメントの主要な手法として長い歴史を積み重ねて来たアセスメント・センター（AC）を取り上げ、その理論と実践面での最近のイノベーションについて解説します。選抜的、診断的、開発的 AC の特徴とその意義、また次元ベース、タスクベース、混合の各 AC モデルに関する論争とその着地点などについて討論します。



担当：渡辺 直登（慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授）

1975年名古屋大学教育学部卒業。東芝勤務を経て、1980年名古屋大学大学院教育学研究科修士課程修了。1985年イリノイ大学大学院教育心理学研究科博士課程修了（Ph.D.）、南山大学経営学部助手、講師、助教授を経て、1998年慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授。主要著書は、『ストレス科学事典』（編集委員・分担執筆、実務教育出版、2011）『職場の精神分析』（監修、亀田ブックサービス、2013）『アセスメント・センターの科学（仮）』（監訳、中央経済社、校正中）など。

#### 第4回

日程: 9月10日(水)

19:00~21:00(開場18:30)

会場: 慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

定員: 200名[先着順]

#### 日本の人事管理の今後

世間では今アベノミクスが注目されていますが、景気が良くても悪くても、組織におけるヒトの悩みは尽きません。今回初の試みとして、皆さんの身近にある雇用・人事管理に関するトピックを事前に募集し、先端的な人事 이슈に織り交ぜてお話ししたいと思います。人事の方だけでなく、マネージャーとして組織を牽引する経営管理職の皆様と、双方向にコミュニケーションを図ることで、新たな発見が生まれることを期待しています。



担当: **大藪 毅**(慶應義塾大学大学院経営管理研究科 専任講師)

1992年京都大学経済学部卒業。1996年京都大学大学院経済学研究科修士課程修了。1997年、新日本製鐵株式会社、(社)関西国際産業関係研究所に勤務。2003年慶應義塾大学大学院経営管理研究科専任講師。2006年より慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科、2008年より慶應義塾大学医学部講師を兼任。2010年博士(経済学・京都大学)取得。主要著書は、『長期雇用制組織の研究 - 日本人材マネジメントの構造』(中央経済社, 2009)など。

#### 第5回

日程: 10月17日(金)

19:00~21:00(開場18:30)

会場: 慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

定員: 200名[先着順]

#### 消費者行動とブランド・マネジメント

企業の安定的成長には、強いブランドを構築・管理してゆくことが必要不可欠です。いっぽう、日本を取り巻く経営環境は複雑化しており、とりわけ消費者行動の多様化は著しいものとなっています。本講座では、拡散する消費者の行動をいかに捉え、どのようにして優れたブランドを育成できるかについて、理論的・実務的な検討を加えることを目指します。



担当: **坂下 玄哲**(慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授)

1999年神戸大学経営学部卒業、2001年同大学大学院経営学研究科博士前期課程修了(修士(商学))、2004年同後期課程修了(博士(商学))。上智大学経済学部経営学科専任講師を経て、2007年より慶應義塾大学大学院経営管理研究科准教授。2013年ノースウエスタン大学客員准教授。主要図書は「ブランド・エクステンション」(『マーケティングと広告の心理学』第3章, 朝倉書店, 2013)、「Mother possessing Daughter」(『Identity and Consumption』第3部, Routledge, 2012)など。

#### 第6回

日程: 11月12日(水)

19:30~21:30(開場18:30)

会場: 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館  
5階 エグゼクティブセミナールーム

定員: 50名[抽選]

#### 「吉野家とゼンショー」のケース・ディスカッション

変化のスピードが早い外食業界において、価格競争を繰り返す2社の牛丼チェーンの経営戦略と財務諸表を読み解きます。単なる財務諸表分析ではなく、つねに経営と会計のつながりを意識しながら、ディスカッションによって講義を進めていきます。これまで、会計や数字にアレルギーをもっていたという方にもぜひ、ご参加いただきたいと思います。



担当: **村上 裕太郎**(慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授)

2000年上智大学経済学部経済学科卒業、2002年大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程修了、2006年同後期課程修了(博士(経済学))(大阪大学)。名古屋商科大学会計ファイナンス学部専任講師を経て、2009年より慶應義塾大学大学院経営管理研究科准教授。主要著書は、「移転価格税制における二国間事前確認制度(BAPA)のモデル分析」(『分析的会計研究 - 企業会計のモデル分析 -』第9章, 中央経済社, 2010)など。

#### 第7回

日程: 12月11日(木)

19:00~21:00(開場18:30)

会場: 慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

定員: 200名[先着順]

#### 企業と社会のリスクマネジメント

企業活動のグローバル展開が進むほど、企業が直面するリスクの種類は増えます。また、特定の災害や犯罪などのリスクに対しても、適切な対応は地域によって異なるものです。そのような多様なリスクに、一企業の経験やノウハウだけで対応することは難しく、企業間の連携や人的なネットワーク、あるいは社会全体の取組でリスクに対応する必要があります。本講座では、企業は利益を得ることだけでなくとどまらず安全社会の実現に貢献する可能性と責任をもつことを、皆様と一緒に考えたいと思います。



担当: **大林 厚臣**(慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授)

1983年京都大学法学部卒業。日本郵船(株)勤務を経て、1996年Ph.D.(行政学)(シカゴ大学)取得。同年慶應義塾大学大学院経営管理研究科専任講師、1998年助教授、2006年教授。この間2000~2001年スタンフォード大学客員助教授、2001~2006年社会技術研究システム研究員、2007~2011年慶應義塾大学グローバルセキュリティー研究所上席研究員を兼任。主要著書は、『戦略の経済学』(共監訳, ダイヤモンド社, 2002)など。